

# Masuko Newsletter



特定医療法人衆済会 増子記念病院 ニュースレター Vol.1

## 当院の神経内科について

この4月から当院で新たに神経内科を開設することになりました。よろしくお願いいたします。

神経内科の疾患で最も患者様の数が多いのが、脳血管障害です。地域医療を担う先生方のもとにも、多くの患者様が通院されていることと思います。急性期を乗り越え、ご自宅に戻られてからも、再発予防をし、ADLを落とさないための方策を考え、ご家族の介護負担も軽減していかなければならない・・・など、問題は山積しています。

これらを解決していくためには、投薬の調整、定期的な病状のチェックなどがかせません。かかりつけの先生方から投薬をしていただきながら、定期的に頭部MRI、MRA、頸部エコーなどの検査をうけていただくことが重要です。当院では、結果をかかりつけの先生と共有し、日々の診療のお役にたてればと考えています。



高齢になり、歩行障害が進行してくる患者様やご家族の中には「年のせいなので仕方がない」と、思われている方がみえます。しかし中には、パーキンソン病などの神経疾患が隠れていることがあります。治療可能な疾患を見逃さないためにも、神経内科受診をおすすめください。今後の治療方針などをかかりつけの先生方と相談しながら、患者様の生活の質の改善を図っていきたいと思います。

### 平成29年6月に当院に導入されたMRI / シーメンス社 Aera (1.5テスラ)

また、高齢者の自動車免許更新時の認知機能の判定など、疾患の治療以外の部分でも地域医療にかかる負担は増大し、病診連携の役割が大きくなってきています。

一方、若年者では、頭痛のコントロールがうまくいかず、鎮痛剤連用による薬剤誘発性頭痛となり、症状が悪化していることがあります。頭痛は患者様のADLを非常に阻害するものです。このような患者様も是非神経内科にご紹介ください。

最後になりましたが、難病の患者様、慢性疾患で在宅療養されている患者様のレスパイト入院などについても、お手伝いしたいと考えております。

今後も病診連携を通じて、お世話になることが多いと思いますが、ご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

(増子記念病院神経内科 竹内有子)